

## 春日井市民病院で診療を受けられた患者さんへ

春日井市民病院では、次の研究を実施しています。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない患者さんまたは患者さんの代理人の方は、問い合わせ先までお申し出ください。

1. 研究の名称	大腿骨近位部骨折患者におけるビタミンDの充足状況と骨密度の関連性 Association between Vitamin D Status and Bone Mineral Density in Patients with Proximal Femoral Fractures
2. 研究責任者	春日井市民病院 薬剤科 主任 中川 圭司
3. 研究の目的	日本において、日常的に検査されることがないビタミンDの充足度の情報が不足しています。ビタミンDはカルシウムの吸収などを通じて骨の代謝やホルモンの恒常性などに関与していますが、ビタミンDと骨密度の数値的関係についてはまだ不明な点が多い状況です。本研究では、特に不足していると考えられる、大腿骨近位部患者さんのビタミンD充足度状況を明らかにし、ビタミンDと骨密度の関連性について理解を深めることを目的としています。
4. 研究実施期間	研究実施承認日から2030年12月31日まで
5. 研究の方法	電子カルテからデータを抽出し、ビタミンD充足度の実態調査を行う。さらに、多重回帰分析を実施し、ビタミンDと骨密度の関連性について研究する。
6. 研究対象者	2024年1月～2025年12月に大腿骨近位部骨折手術を受けた症例 〔除外基準〕 当院の電子カルテで確認可能な限り、過去5年以内に骨粗鬆症治療薬の使用歴がある 活動性の悪性腫瘍を有する、あるいは抗がん剤による治療を受けている 骨転移を有する 悪性腫瘍に対するビスホスホネート製剤、デノスマブを使用している 骨ペーজেット病など骨代謝に影響する疾患を有する 関節リウマチ、全身性エリテマトーデス（SLE）、炎症性腸疾患（クローン病、潰瘍性大腸炎）等、活動性の全身性自己免疫性疾患を有する 甲状腺機能亢進症、副甲状腺機能亢進症を有する 高エネルギー外傷（交通事故、高所からの転落など）による骨折

	<p>腎機能低下（推定 Ccr30 mL/min 未満）</p> <p>全身性ステロイドの使用がある</p> <p>骨密度が大腿骨部位（T-スコア:トータル,ネック）で測定されていない</p> <p>術後 4 日以降に 25（OH）D が測定された、または測定値が欠損している</p>
7. 使用する試料・情報等	年齢、性別、体重、身長、BMI、手術日、術式、骨折型（頸部/転子部）、骨密度、居住形態（自宅/施設・入院）、血液検査データ、薬の使用歴
8. 個人情報の取扱い	<p>使用する情報は、個人を特定できる情報を削除する匿名化を行うとともに、厳重に管理します。</p> <p>また、研究結果を学会等で発表する場合も、個人を特定されることがないように十分に配慮します。</p>
9. 研究対象者の利益・不利益	<p>本研究は、診療で得られた情報を使用する研究であり、研究のための新たな診療や検査は生じません。</p> <p>また、研究対象者となった方への謝礼等もありません。</p>
10. 試料・情報の使用停止	患者さんまたは患者さんのご家族から、本研究に情報を使用されたくないとお申し出いただいた場合は、情報は削除し、研究に使用することはありません。お申し出により患者さんが不利益を被ることはありません。
11. 問い合わせ先	<p>春日井市民病院 薬剤科 主任 中川 圭司</p> <p>〒486-8510 愛知県春日井市鷹来町1丁目1番地1</p> <p>TEL：0568-57-0057（内線：2105）</p> <p>FAX：0568-57-0067（代表）</p>